

ステークホルダーとのコミュニケーション

ITS2022 のイノベーション オブ ザ イヤー賞を受賞 ～日本初 電気推進タグボート～

IPSは、株式会社e5ラボ(以下、e5ラボ)、東京汽船株式会社、金川造船株式会社と共同開発建造中の電気推進タグボートについて、9月29日にInternational Tug & Salvage Awards 2022^{※1}のイノベーション オブ ザ イヤー賞を受賞しました。

この電気推進システムは、e5ラボにより提案されたプラットフォーム(大容量リチウムイオン電池およびディーゼル発電機の組み合わせ)をIPSがインテグレートとして取りまとめました。本システムは、本船から排出されるCO₂、NO_x、SO_x、煤煙等のロー&ゼロエミッション化を達成し、環境負荷を低減するとともに、騒音や振動を抑えることで乗組員の労働環境と横浜・川崎港周辺の環境に配慮した船舶となっております。

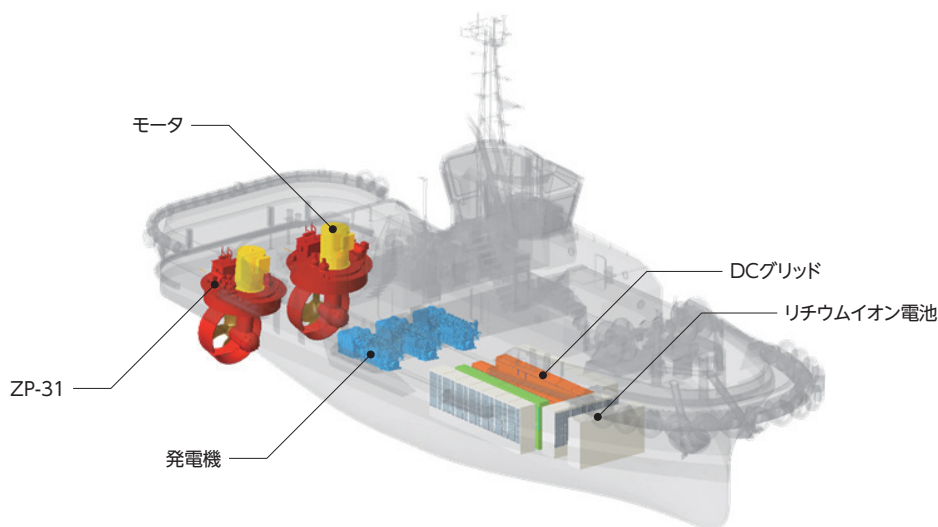
現時点で、日本にはディーゼル機関を動力とせず中間

軸を介在しない電気推進タグボートは無く、完成すれば日本初となります。4社は、2022年12月の竣工を目指して取り組んでおります。

本船の研究開発および建造は、経済産業省・資源エネルギー庁の「AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金(内航船の革新的運航効率化実証事業)」の補助事業として採択されております。

IPSは、引き続き海運業界の持続的発展およびゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

※1 International Tug & Salvage 2022で行われた授賞式。今年は9月28日～9月30日にトルコ・イスタンブールで開催されました



電気推進タグボート イメージ図



授賞式写真

(中央右側)東京汽船株式会社 代表取締役社長 齊藤宏之氏
(中央左側)IPS 推進システム開発部 織部雄介氏



富士電機 2021年度取引先表彰「優秀賞」を受賞

7月14日に品川プリンスホテルで開催された、富士電機株式会社 生産・調達本部の2021年度取引先表彰式で、IPSがプラントシステム機器部門の「優秀賞」を受賞し、富士電機株式会社の近藤社長から、賞状およびトロフィーを授与されました。

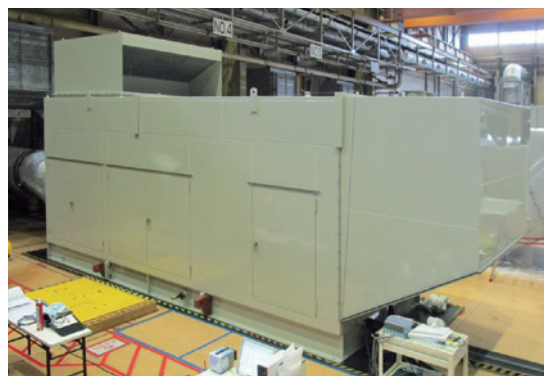
今回の表彰は取引先約6,000社の中から5社が選出されたものであり、たいへん名誉な受賞となりました。

同社とは、近年国内外で活況を呈しているデータセンター向け非常用ガスタービン発電装置の取引が増えており、IPS製品の品質および納品対応が高く評価されたの受賞となりました。

今後もデータセンター新設需要は続くことが予想され、新規案件のみならず納入した案件のライフサイクルビジネスも拡大すべく取り組んでいきます。



表彰式にて
(左)富士電機株式会社社長 近藤氏
(右)IPS陸用事業部長補佐 刀根氏



新潟ガスタービン工場で試験中の
ガスタービン発電装置